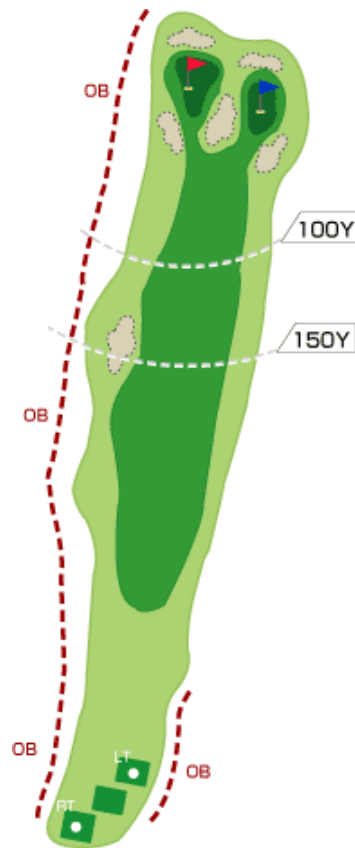


千葉夷隅ゴルフクラブ
ゴルフコースガイド

1

東 1

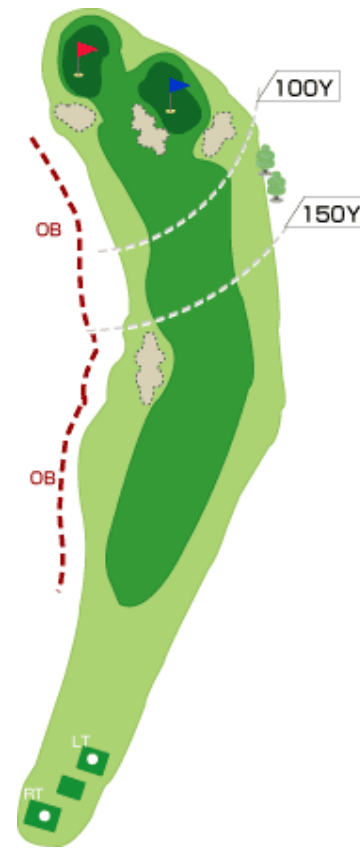


ヤーデージ | BACK 374Y
REGULAR 354Y
FRONT 333Y

目標を定めやすいスターティングホール。ティーから全てのバンカーとグリーンが美しく視界に入る。グリーンはピン手前に乗せると 1 パットのチャンス。

2

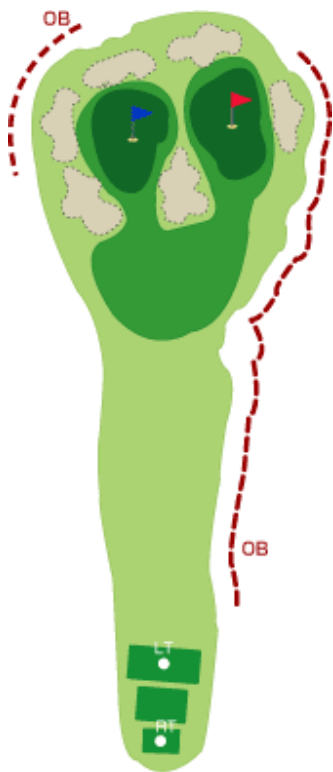
東 2



ヤーデージ | BACK 375Y
REGULAR 354Y
FRONT 350Y

気負って左ショートカットを狙うと失敗するホール、第 1 打の目標は、カート道路方面の山に立つ 2 本木。第 2 打は無理をすると左の OB ゾーンに吸い込まれる。うまく花道を利用して攻める。

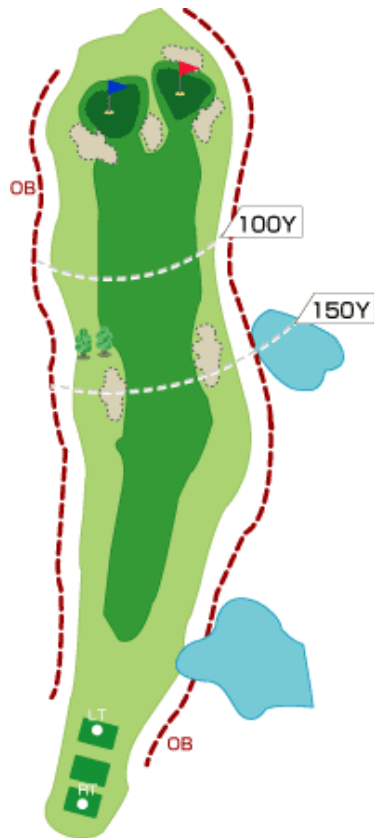
東 3



ヤーデージ | BACK 186Y
REGULAR 171Y
FRONT 151Y

ショットの正確さを競い合うショートホール。直接キャリーで狙うときは、ニューベントグリーン時は左手前に乗せるとよい。やや打ち下ろしのため1クラブ小さくてよい。

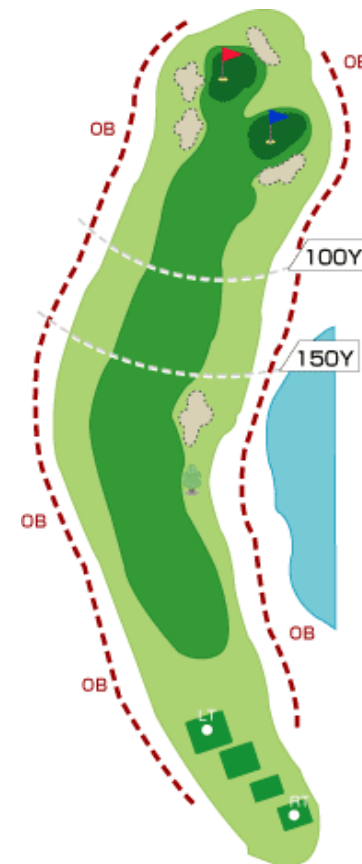
東 4



ヤーデージ | BACK 398Y
REGULAR 374Y
FRONT 352Y

広いフェアウェイに向かって豪快なドライビングが楽しめる。左右に曲げるとクロスバンカーなので注意。第2打は距離感を誤りグリーン手前のバンカーに捕まりやすい。打ち上げなので、1クラブ大きいクラブ選択を。

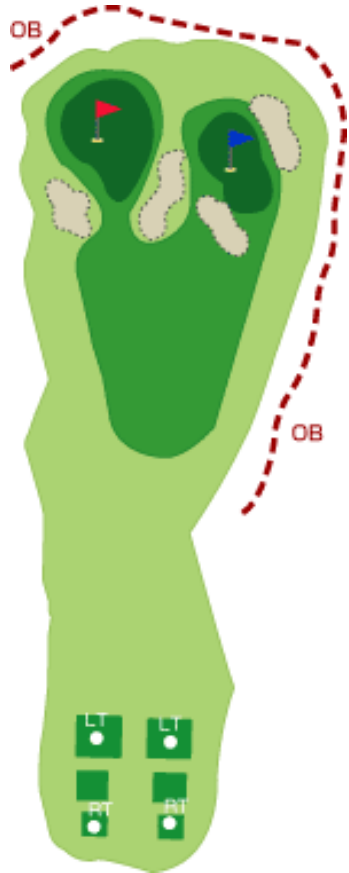
東 5



ヤーデージ | BACK 415Y
REGULAR 396Y
FRONT 371Y

軽率な2オン狙いで大叩きするホール。第1打はOBを確認し、左山裾へ。第2打は打ち上げのため大きめに攻めていくが、ロングアイアンの距離が残るときは、両グリーン手前のフェアウェイに落とすと良い。

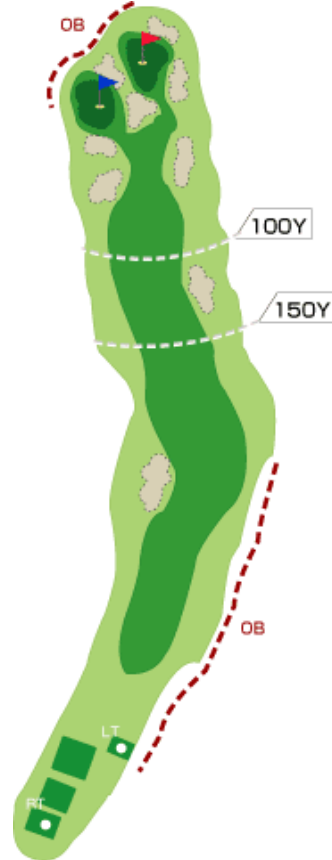
東 6



ヤーデージ | BACK 206Y
REGULAR 188Y
FRONT 172Y

手前に並ぶ 3 つのバンカーが、花道からの攻めを難しくしている。長いクラブを使用するため、まずは乗せることを頭において。打ち下ろしなので、1 クラブ小さくても良いが、グリーン奥にこぼしても寄せはやさしい。

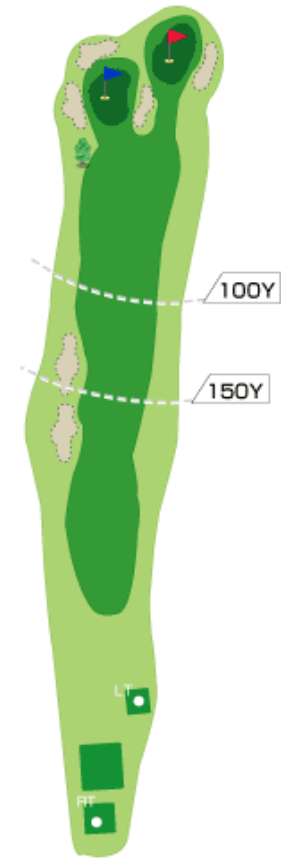
東 7



ヤーデージ | BACK 532Y
REGULAR 501Y
FRONT 479Y

グリーンまわりのバンカーが眩しいロングホール。アプローチ勝負なので、第 1 打を左クロスバンカーの右へコントロールし、第 2 打で確実にフェアウェイセンターへ刻んでおくことが大切。グリーンがいずれも受けているためアプローチをピン手前に落とすとパーを狙える。

東 8



ヤーデージ | BACK 444Y
REGULAR 422Y
FRONT 422Y

フラットだが距離のあるミドルホール。飛距離に自信がなければ 3 オン狙いショートアイアンの距離からだ十分に花道を利用できる。

東 9

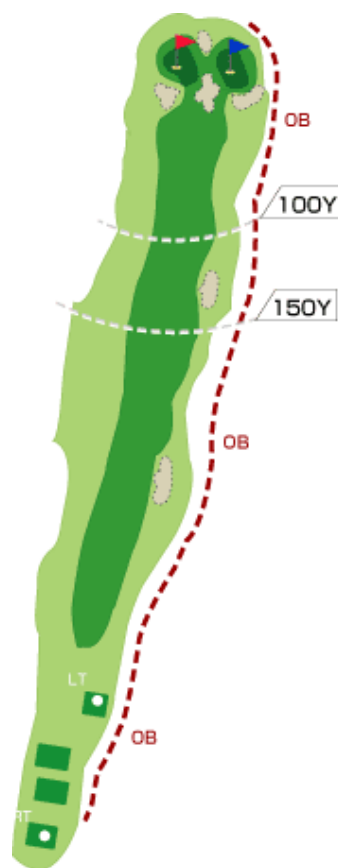


ヤーデージ

BACK 551Y
REGULAR 521Y
FRONT 502Y

右から攻めていけば安全なホール。第1打は右クロスバンカーの左を通す気持ちで。第2打で残り100ヤード以内まで運べると池越えの3オンが楽になる。距離が足りない人は3打目で池手前へ刻むとよい。

南 1

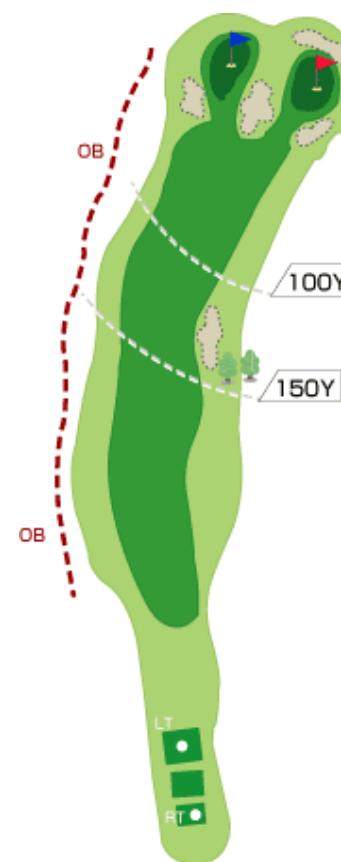


ヤーデージ

BACK 575Y
REGULAR 547Y
FRONT 520Y

第1打・第2打ともに右に曲げるとOB。広い左サイドにターゲットゾーンを定めよう。ロングヒッターならば3オンできるが、グリーン周りのバンカーは結果オーライを許さないため、3打目を刻みアプローチ勝負したほうが良い。

南 2

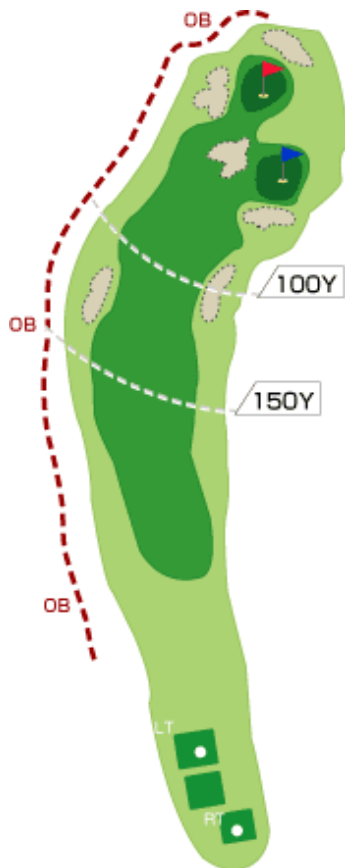


ヤーデージ

BACK 398Y
REGULAR 381Y
FRONT 360Y

フェアウェイが広くロングドライブを競いあえるホール。右クロスバンカーの左を通すつもりでティーショットしよう。第2打はグリーンが高くなっているため、やや大きめに攻める。

南 3



ヤーデージ

BACK 373Y
REGULAR 351Y
FRONT 329Y

ティーショット落下地点の左右にクロスバンカーが待ち受けている。フェアウェイ中央やや左に落とすショットが最高。第2打はニューベントグリーンの場合は左のOBが近く危険。高いボールでバンカー越えよう。

南 4

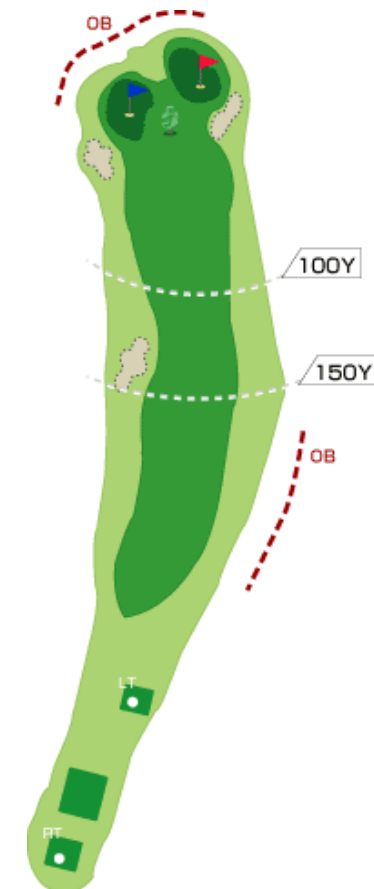


ヤーデージ

BACK 188Y
REGULAR 167Y
FRONT 146Y

ショットのぶれを許さないショートホール。直接グリーンをとらえる果敢な攻めが要求されるが、風がフォローの日には奥の池が効いてくる。打ち下ろしなので、1クラブ小さくコンパクトなショットでグリーンセンターを狙おう。

南 5

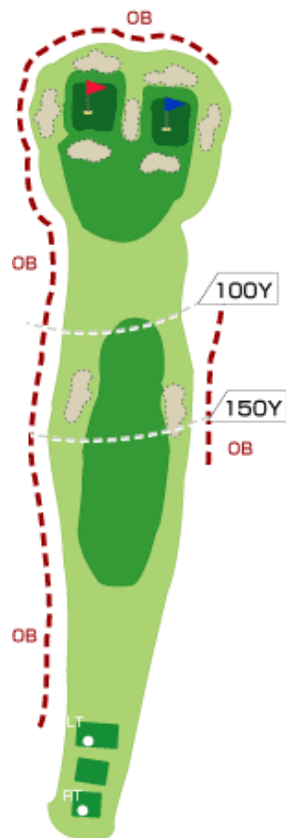


ヤーデージ

BACK 403Y
REGULAR 365Y
FRONT 365Y

左右の林に入れると急斜面に落ちるので、ティーショットは慎重に。右のラフはフェアウェイに向かって受けているためこの方向がベスト。見た目より距離が残る第2打は、大きめに乗せていか、ノーハザードの花道へ刻むか、自らの飛距離に合った攻略を。

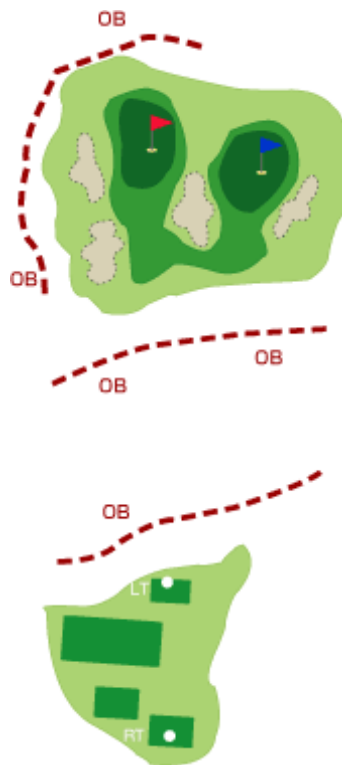
南 6



ヤーデージ | BACK 364Y
REGULAR 347Y
FRONT 328Y

豪快なドライビングと繊細なアプローチを同時に楽しめるホール。フェアウェイセンターを堂々と征服したあとは、打ち下ろしのレイアウトが広がる。1クラブ小さいアイアンで高いボールでグリーンセンターに乗せよう。

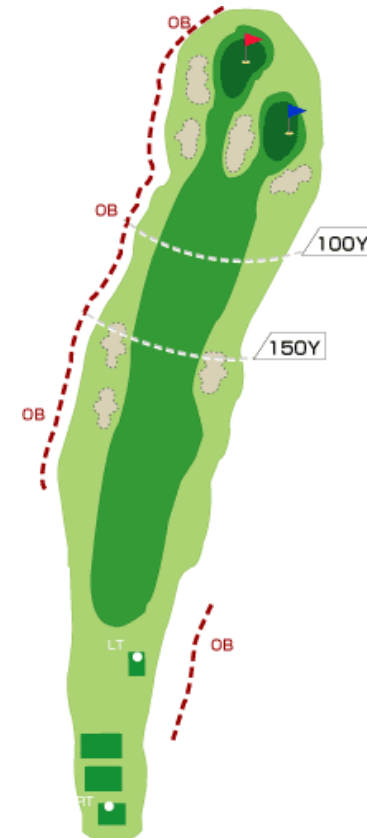
南 7



ヤーデージ | BACK 207Y
REGULAR 170Y
FRONT 170Y

谷越えで風向きが変わりやすいショートホール。グリーンは受けているためピン手前に乗せるのが理想。手前のバンカーを避けようとしてオーバーすると厄介な下りのパットが残る。

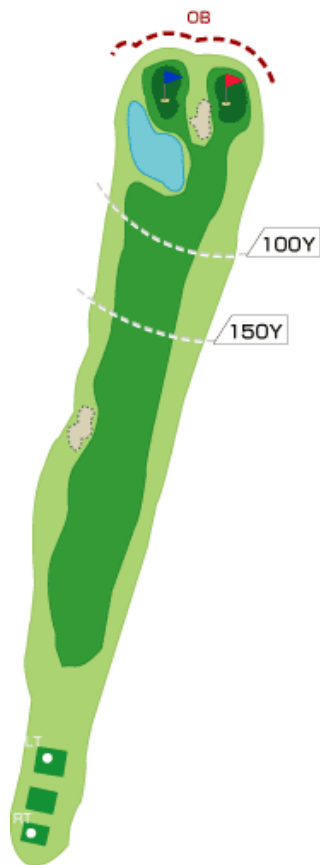
南 8



ヤーデージ | BACK 436Y
REGULAR 416Y
FRONT 395Y

ティーグラウンドからはっきりとグリーンが望めるため、攻略ルートを引きやすい。クロスバンカーの威圧感に負けないティーショットを。第2打はグリーンまで十分な距離が残るので、アプローチが楽な花道へ刻んでも良い。

南 9

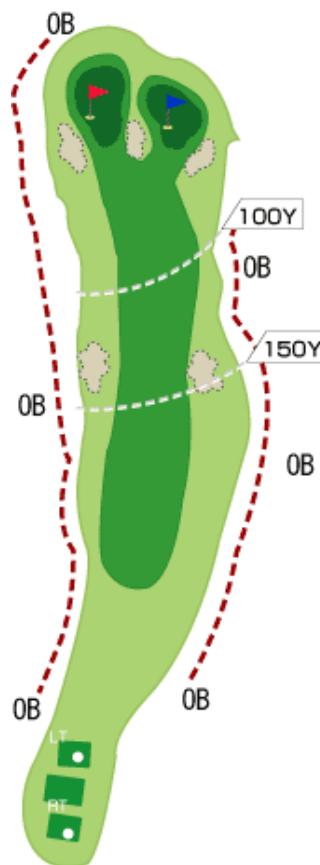


ヤーデージ

BACK 514Y
REGULAR 498Y
FRONT 478Y

フェアウェイが左へ流れているため、第1打は右狙い。ニューベントグリーンは手前の美しい池をどう攻めるかがポイント。オールドベントグリーンは安全な花道を生かして3オン狙い。オーバーはOBなので手前から攻めよう。

西 1

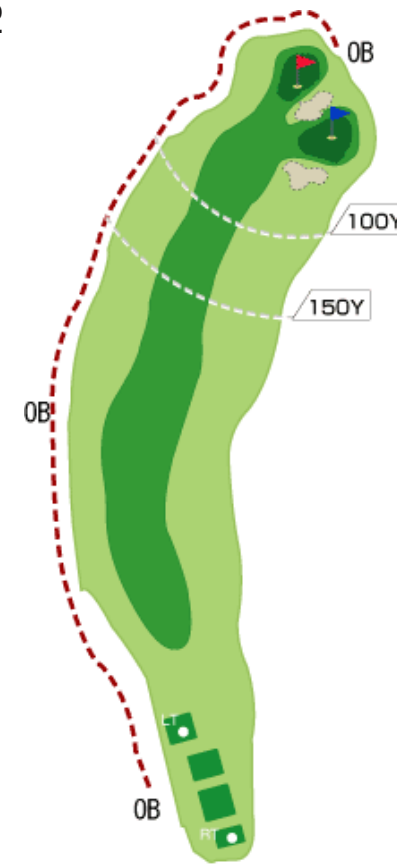


ヤーデージ

BACK 383Y
REGULAR 358Y
FRONT 335Y

第1打の落下地点にクロスバンカー、さらに左右OBのため第1打はコントロール重視。やや打ち上げのセカンドはガードバンカーに入れずに大きめに攻めるとよいが、コントロールに自信があれば花道からピン手前に乗せることも可能。

西 2

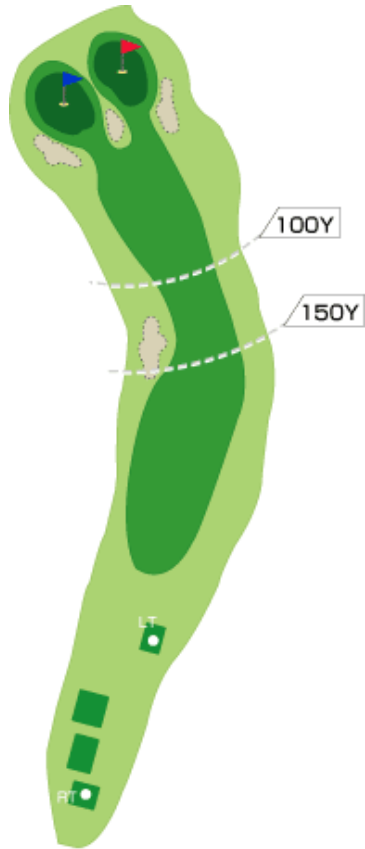


ヤーデージ

BACK 537Y
REGULAR 517Y
FRONT 487Y

右ドックレッグでフェアウェイもやや右に流れるので、第1打は心持ち左がよい。セカンドは、ニューベントグリーン狙いの場合には右に曲げると、グリーン手前の窪地状のラフに入り、苦しいアプローチが残る。フェアウェイ中央へ丁寧に刻むとピンデッドにパーオンできる。

西 3



ヤーデージ | BACK 410Y
REGULAR 390Y
FRONT 367Y

フラットな左ドックレッグホール。左クロスバンカー越えは余程の飛ばし屋でないと無理。基本どおり右目を攻め確実にフェアウェイをとらえるほうがよい。第 2 打は距離が十分残るためバンカーをよく確かめた上で花道狙い。

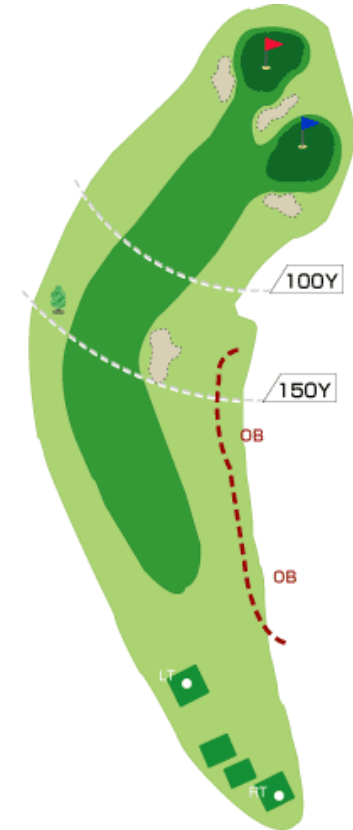
西 4



ヤーデージ | BACK 167Y
REGULAR 151Y
FRONT 133Y

キャリーボールのコントロールを競い合うショートホール。打ち下ろしの距離感に注意し柔らかいボールを上げていけばグリーンがやさしく受け止めてくれる。右にボールが出ると OB があるので注意。

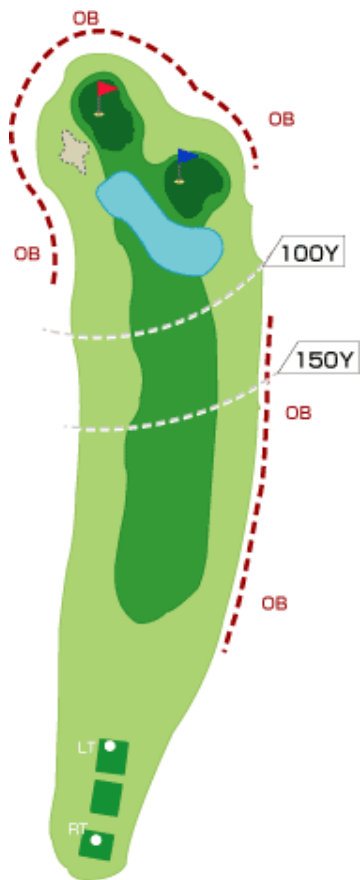
西 5



ヤーデージ | BACK 401Y
REGULAR 360Y
FRONT 382Y

ロングヒッターは右に続く谷沿いのショートカットを楽しめるが、曲がりやすければやめたほうがよい。フェアウェイ左に運んだ後の第 2 打はやや打ち上げでグリーンが受けているためピンをデッドに狙うつもりで果敢にキャリーオンしていこう。

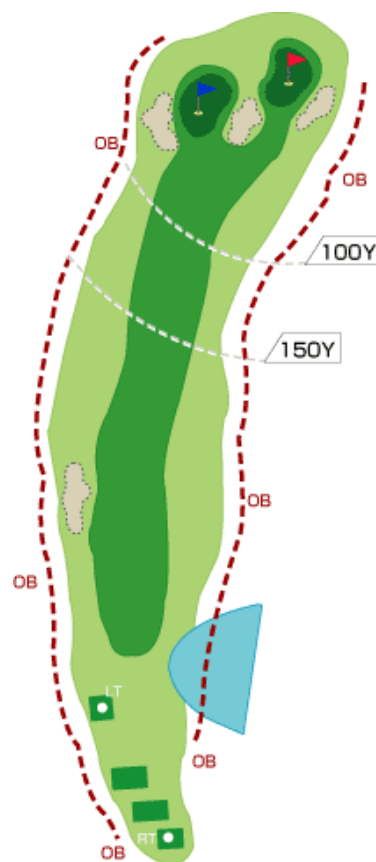
西 6



ヤーデージ | BACK 383Y
REGULAR 358Y
FRONT 334Y

第2打で池越えのプレッシャーがかかるコース。ティーショットは広いフェアウェイのセンターをターゲットにのびのびと。第2打は、ニューベントグリーンは池が間近に迫っているのでグリーン中央へ。オールドベントグリーンは左バンカーへ入れないようやや右から攻める。

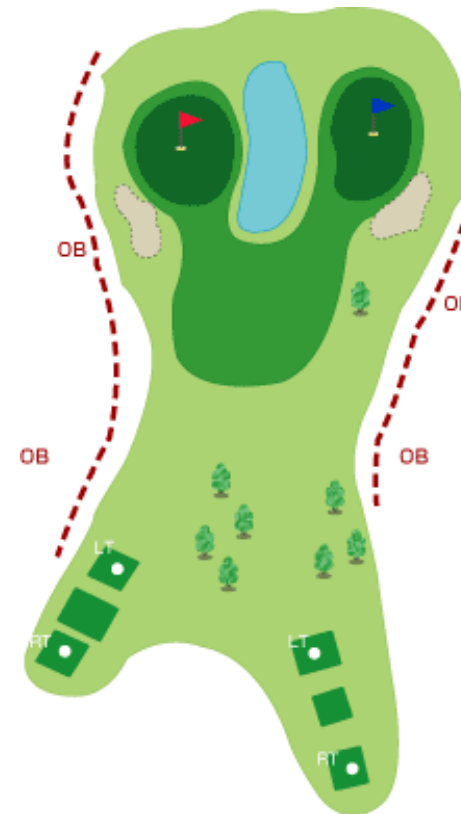
西 7



ヤーデージ | ACK 451Y
RBEGULAR 430Y
FRONT 411Y

打ち上げで距離もあるためアベレージヒッターは3オン狙い。フェアウェイは広いので思い切りのよいティーショットができる。セカンドは確実に花道方向へ刻んだほうがよい。

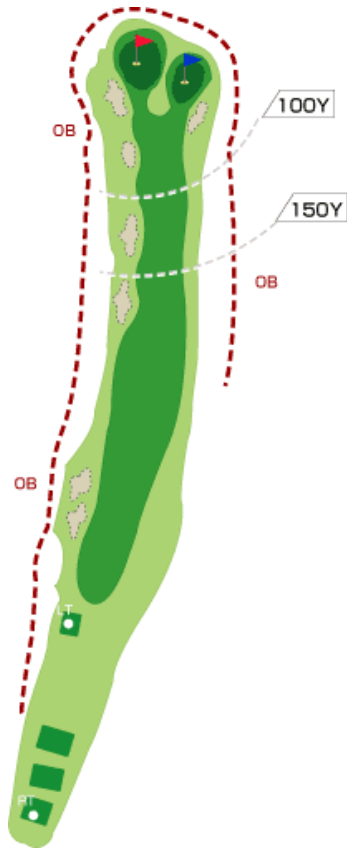
西 8



ヤーデージ | BACK 194Y
REGULAR 174Y
FRONT 156Y

池がグリーンを二分する、やや打ち下ろしのショートホール。オールドベントグリーンは距離があり、池も巻いているのでプレッシャーを感じる。左のOBにも気をつけグリーンセンターを狙おう

西 9



ヤーデージ

BACK 576Y
REGULAR 553Y
FRONT 528Y

グリーンまで美しいレイアウトを見下ろすロングホール。2打目からの打ち上げのため2オンはまず不可能。フェアウェイ左に続くクロスバンカーを避け心持ち右から攻めよう。第3打でピン手前に乗せれば上りのパツとなる。